

小西 行郎 (こにし ゆくお)

日本赤ちゃん学会理事長
同志社大学大学院心理学研究科 教授
赤ちゃん学研究センター センター長
小児科医 (小児神経専門医)

1947年香川県生まれ。専門は小児神経学。

京都大学医学部卒業後、同大学付属病院未熟児センター助手となる。

1983年より、福井医科大学小児科講師、1988年同大学助教授。

1989年より、文部省在外研究員としてオランダ、フローニンゲン大学にて発達行動学を学ぶ。

1999年、埼玉医科大学小児科教授に就任。

2001年10月、東京女子医科大学に乳児行動発達学講座を開設し教授となる。

また、同年に赤ちゃんをまるごと考える“日本赤ちゃん学会”を創設。

こどもたちの行動を丁寧に観察し、発達との関係性を読み解きながら理解し、そこから学ぼうと主張する。

2008年10月1日より現職。

主な著書に『早期教育と脳』(光文社新書)、『赤ちゃんと脳科学』(集英社新書)、『赤ちゃんのしぐさ BOOK』(海竜社)、『赤ちゃんのあそび BOOK』(海竜社)、『知れば楽しいおもしろい 赤ちゃん学的保育入門』(フレーベル館)、『赤ちゃんのからだ BOOK』(海竜社)、『乳児保育の基本 (共編著)』(フレーベル館)、『赤ちゃんのしぐさで気持ちがわかる本』(PHP 研究所)、『赤ちゃんのおしゃべり BOOK』(海竜社)、『子どもの脳によくないこと—赤ちゃん学、脳科学を生かす子育て』(PHP サイエンスワールド新書)、『発達障害の子どもを理解する』(集英社新書)、『0歳の赤ちゃんの気持ちがわかる本』(講談社) 他

“赤ちゃん学”とは…。

小児科学、発達認知心理学、発達神経学、脳科学、ロボット工学、物理学、教育学、霊長類学などの異分野研究の融合による新しい学問領域であり、21世紀最大のなぞの一つといわれる赤ちゃんの運動・認知・言語および社会性の発達とその障害のメカニズムの解明から、ヒトの心の発達までを対象とする学問です。

“日本赤ちゃん学会”とは…

赤ちゃんを総合的に、そして多面的な視点からとらえる「赤ちゃんを中心とした学問」の構築を目指し、2001年に設立されました。

■ 最近の主な著書

著者名	題名		出版社	年
小西 行郎	赤ちゃんと脳科学（集英社新書；0194I）		集英社	2003.5
小西 行郎	早期教育と脳（光文社新書；162）		光文社	2004.8
小西 行郎	赤ちゃんのしぐさ BOOK	小西 薫(共著)	海竜社	2005.12
小西 行郎	赤ちゃんのあそび BOOK	小西 薫(共著)	海竜社	2006.12
小西 行郎	知れば楽しいおもしろい 赤ちゃん学的保育入門		フレーベル館	2006.12
小西 行郎	もっと知りたい、おなかの赤ちゃんのこと		赤ちゃんとママ社	2007.6
汐見 稔幸 小西 行郎(編著) 榊原 洋一	乳児保育の基本		フレーベル館	2007.12
小西 行郎	赤ちゃんのからだ BOOK	小西 薫(共著)	海竜社	2008.3
小西 行郎	赤ちゃんのおしゃべり BOOK	小西 薫(共著)	海竜社	2010.5
小西 行郎	発達障害の子どもを理解する（集英社新書：0616I）		集英社	2011.11

■ 参考資料

編著者名	題名		出版社	年
日本赤ちゃん学会	赤ちゃん学カフェ 2008 Vol.1 【特集】赤ちゃんの社会性の発達		ひとなる書房	2008.4
日本赤ちゃん学会	赤ちゃん学カフェ 2009 Vol.2 【特集】乳幼児の睡眠／赤ちゃんと言		ひとなる書房	2009.5
日本赤ちゃん学会	赤ちゃん学カフェ 2010 Vol.3 【特集】早期教育を考える／赤ちゃんの知覚と認知発達		ひとなる書房	2010.6